

すずらん

第35号
2020.2

庄原市立西城市民病院
広島県庄原市西城町中野1339番地
TEL:0824-82-2611代
FAX:0824-82-2012

西城市民病院だより



講師の脇本旭医師

西城市民病院

市民公開講座で 地域包括医療を学ぶ



シルバーリハビリ体操

当院では、市民公開講座をシリーズで行っており、パート2は、11月21日(木)、西城市民病院2階大会議室において、当院内科医

師の脇本 旭(わきもと あさひ)医師が講演をしました。46名の参加がありました。

はじめに、シルバーリハビリ体操2級指導士(曾利雪子さん、田村久子さん)による体操実技を行いました。椅子での体操を呼吸を整えながら行った後、講演が始まりました。

講演のテーマは「私のめざす地域包括医療」で、自己紹介を交えて、地域医療にかかわってきた事例や思いなどを話されました。

これまでに携わった広島市の

医療と庄原市の医療について、それぞれの特徴や違いを話されました。当院のような地元密着は、医者と患者さまの距離が近く顔が見えるからこそやりやすいと思うが、医師に課せられる知識と業務の幅が広いことを痛感していると話されました。

会場からは、効率化優先でなく、しっかり地域をみて人を大切にする医療を貫いてほしいとエールが飛び、地域医療の専門医に期待する住民の声が印象的でした。



講演風景

美しいオルゴールを寄贈いただきました!

國上美明さん(大屋在住)と郷力和明さん(大屋出身)が当院へ橋本勇夫さん制作の美しいオルゴールを寄贈してくださいました。1月20日(月)、贈呈式を行いました。橋本勇夫(はしもと いさお)さんは、西城町大屋出身のオルゴール作曲家です。いただいたオルゴールは、1階正面玄関に設置し、快い音色を奏でています。



橋本勇夫作オルゴール

國上さんは、「地域の方々に愛される西城市民病院であり続けることを願い、オルゴールを贈ります。来院くださる患者さんや家族の方々、関係者や職員の皆さんに聴いてもらい、ほんのひと時でも心の安寧を保っていただければ幸いです。」と話されました。ご寄贈ありがとうございました。



オルゴールの前で贈呈式

基本理念

市民の皆さまが安心して暮らせ心の支えとなる病院に

～過疎地域における将来にわたって安定した医療の提供と市民の健康を守り安心して医療が受けられる体制整備に向けて～

基本方針

1. 患者さま第一の、満足いく医療を提供します。
2. 保健・医療・福祉と連携し、地域で安心して暮らせるよう支援します。
3. 救急医療を充実させ、安全で質の高い医療を提供します。
4. 患者さまのプライバシーを尊重し、わけへだてのない医療を提供します。
5. 常に自己研鑽に努め、明るく働きがいのある職場環境づくりをめざします。



健診受けて元気な日々を!

当院では皆さまの健康生活をサポートするため、人間ドックや各種健診を行っております。

健診によるがんの早期発見・早期治療や、メタボリックシンドロームの予防はとても大切で、年一回の生活習慣病健診を、自分の健康を振り返るチャンスととらえ、健診受診を習慣づけてほしいものです。4月には令和

2年度庄原市生活習慣病健診の受診者募集が始まります。

また、平日勤務等で健診を受けにくい方のために、日曜日に脳ドックを受ける“サンデー脳ドック”を独自で行っています。

元気な日々を継続するために、是非当院で行う健診をご利用ください。



乳がん検診 マンモグラフィー検査

●問い合わせ先/西城市民病院 医事係 TEL 0824-82-2613



糖尿病デーの呼びかけ風景

11月14日は「世界糖尿病デー」として世界各地でブルーライトアップのイベントが開催されています。当院では、全国糖尿病週間(令和元年11月7日(木)~11月17日(日))

ブルーライトアップをしました!

に合わせて、病院国道側フェンスに横断幕を掲示しブルーライトを照らして糖尿病デーの周知に取り組みました。また、14日には院内フロアで外来の患者さまや健診受診者の方々に糖尿病の発症と重症化予防を呼びかけ、啓発グッズを配布しました。



当院のブルーライトアップ



シンボルマーク
ブルーサークル

庄原市立西城市民病院 経営改革プラン評価委員会を実施しました。

当院では第2期庄原市立西城市民病院経営改革プラン(2017~2021年度)を掲げ、現在具現化に向けて取り組んでいます。令和元年11月25日(月)に当院2階大会議室において庄原市立西城市民病院経営改革プラン評価委員会を開催し、プランの進捗状況の点検をしました。平成30年度の病院運営について協議され、健全な経営がなされていると評価をいただきました。今後も良質な医療の提供や経営の効率化、地域の包括ケア拠点施設としての病院運営の在り方を模索しながら前向きに取り組んでいきます。



新規職員紹介

新しい力が加わりました!



西城居宅介護支援事業所
介護支援専門員
(ケアマネジャー)
たかふじ まゆみ
高藤 真由美

令和元年11月より西城居宅介護支援事業所で勤務をしております、高藤と申します。しあわせ館の中でケアマネジャーとして仕事をしています。西城町内で仕事をすることが初めてで、知らないことも多く、頼りないところもあると思いますが、フットワーク軽く、仕事をすすめていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



リハビリテーション科
作業療法士
なんば ゆずる
難波 諭

令和元年12月よりリハビリテーション科でお世話になっております、難波と申します。生まれ育った岡山を離れ、11月から庄原市民となりました。庄原を第二の故郷として盛り上げたく、日々精進していく所存です。まだまだわからないことも多くご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、よろしくお願ひいたします。

♡ デイサービスで忘年会 ♪



歌と踊り

西城市民病院デイサービスでは、令和元年12月9日から1週間、利用者の皆さまの1年間の慰労し、新たな気持ちで新年を迎えていただくため、忘年会を開催しました。

全員で体操をし身体をほぐした後、スタッフが「歌と踊り」や「寸劇」を行い、利用者の皆さまに1年を笑いでおさめてい



劇の様子

ただこうと頑張りました。回を重ねるごとに芸に磨きをかけアドリブも上達し、会場は利用者の皆さまの大きな拍手と笑い声で盛り上がりました。令和2年も良い年になりますように♡

飛び出す!

気軽にご利用ください!

西城市民病院グループ出前講座

当院では、出前講座を行っています。講座は、地域と病院が、健康の大切さを共有できる場として、市民の皆さまに喜んでいただいております。令和元年度は25回の実施見込みです。皆さま、是非ご利用ください。

● 申し込み・問い合わせ先 / 西城市民病院 地域連携室
TEL 0824-82-2636 FAX 0824-82-2012



● 「東城川西下自治会研修会」で
「心と身体の健康づくり」
R1.12.9(月) 保健師による



● 「大屋今柳会新春講演会」で
「地域包括医療について」
R2.1.13(月) 医師(郷力院長)による



● 「西城八鳥ふれあいサロン」で
「歯と口の手入れ」
R1.12.6(金) 歯科衛生士による

西城訪問看護ステーション

西城訪問看護ステーションは、西城しあわせ館内と庄原市役所東城支所内に事業所を設置しています。看護師5名、理学療法士1名、事務職1名で、主に西城町・東城町を中心に訪問活動を行っています。訪問対象は、赤ちゃんから高齢者まですべての方です。

私たちは、病状や療養生活を看護の視点から専門的に観察しアドバイスをを行います。また、実生活に即したりハビリを個別に実施し、家族へ介助方法の指導などを行います。

病気や障害があっても、住み慣れた家や地域で自分らしく暮らしたいという思いを受け止め、実現できるよう日々努力しています。

退院後も自宅で安心して過ごせるよう、主治医の先生や、他のサービスを行っている職種の人たちと連携をとりながら、業務に当たっています。

最期まで自宅で過ごしたい、家族と一緒にいた

いという思いを叶えるために、24時間体制で、電話相談やいつでも訪問できる体制を整えています。

今後も地域の方のお役に立てるよう頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

暮らしと医療をつなぐ訪問看護



● 問い合わせ先 / 西城訪問看護ステーション TEL 0824-82-3351

1階掲示板 作品紹介

1階廊下掲示板に、園児や児童、地域の方々の作品を展示しており、来院された方々に楽しんで観ていただいています。ご出展いただきありがとうございます。

掲示板のご利用をお待ちしております。

●申し込み・問い合わせ先/
西城市民病院 事務局庶務係
TEL 0824-82-2611



12月 西城写友会の写真展



1月 八銚自治振興センターの作品「サロン くまさんのお家」



大横さん



談笑の様子

介護老人保健施設「せせらぎ」に訪問し、入所者の方と一緒に過ごして下さっている本町の大横三代子さんをご紹介します。毎週水曜日の午前、入所者の方々と一緒にホールで体操をしたり談話を楽しんだりして下さっています。お湯のみを洗うな

どスタッフのサポートもして下さいます。

大横さんは、認知症デイケアが設置されていた15年以上も前から利用者さまと寄り添うボランティアを続けて下さっています。「いつの間にかそんなに経っていました。入所者の方々の「また来てね。」の声に元気をもらい、今まで続けてきたのだと思います。少し間があくと、「元気だった？」と心配して声をかけて下さいます。昔の地域の写真を見ながら懐かしく話したり、町内や地域のニュースなどをお届けしています。お話しをしっかりと聴くこと、プライベートなことは聞かないこと、感染症の流行時期は行かないなどを心がけています。」と優しく話されます。心温まるご支援に感謝いたします。



西城市民病院 ボランティア活動のご紹介



西城市民病院では、ボランティアの方々のご支援をいただいております。

病院玄関掲示板の置物をのせるコースターを製作し、病院玄関を美しく華やかにして下さっている、大佐松ケ平の吉岡武雄さんをご紹介します。吉岡さんは、仕事を辞めた60歳過ぎ頃から、コースターや立方体の鉛筆立て、フクロウの置物などをコツコツ作ってこられました。

「美しい畳の縁(へり)をコースターとして生まれ変わらせたいとの思いで始めました。一つひとつ美しい柄を活かして、これまで1,000枚くらいは作りました。置物が生き返るようでうれしいです。観てくださる方々が喜んでくださるので、続けていきたいです。」と笑顔で話されます。



吉岡さん



コースターの数々

来院された方々が、足を止めて花瓶敷や置物コースターを笑顔で観ておられます。心のこもったご支援、ありがとうございます。

編集後記

日頃から、西城市民病院を支えていただきありがとうございます。

病院長の年頭のあいさつに、「国は地域医療構想の具現化に向けた動きを加速させており、公立病院を取り巻く状況は厳しいものがあります。今こそ私たちは、職員一同、心一つにして常に患者さまの気持ち(心)を理解できる医療・ケアを提供し、地域包括医療・ケアを推進していきましょう。本年はオリンピック開催の年でもあります。ワクワク感を大切に、元気な地域づくりのお手伝いしましょう。」とありました。本年もよろしく願っています。

次回のすずらん発行は、令和2年5月を予定しています。ご意見等、お寄せください。

【西城市民病院広報委員会】

休日・時間外を問わず、救急については24時間対応しています。